



かぜくも

いわき支援学校

地域支援センター通信 No. 20

R2. 12. 24 発行

相談機関等と上手に連携・協働するために…

教頭 瀧本 実加

みなさんは、「チームとしての学校(チーム学校)」という言葉を知っていますか？

発達障がいなど、特別な教育的支援を必要としている子どもに対して、特性に応じた指導支援を検討し実践していくためには、校内の支援体制の構築とともに、地域の関係機関と連携を図り専門的な観点から指導助言を受けながら、現在行っている指導支援の見直しや改善をしていくことが望まれています。つまり、学校と地域や関係機関との連携・協働が重要で、「チームとしての学校」の取組の充実が求められています。

では、どのように他職種や関係機関と連携し協働するとよいのでしょうか？

まずは、相談機関や専門機関から助言を受ける目的と内容を明確にしておくことが大切です。そして、教師と保護者が信頼関係を構築し、子どもの苦手なところばかりに注目するのではなく、長所にも注目して、その子どもの全体像と一緒に理解することが必要です。さらには、子どもの学校生活における様々な情報を整理した「個別の教育支援計画」等を活用することで、関係機関等と必要な情報を共有していくとよいのではないのでしょうか。

本校の「地域支援センターかぜくも」では、特別支援学校として培ってきたノウハウや専門性を生かして、保護者や学校、医療、福祉などつながりを持ち、校内・校外の「連絡調整役」として、地域におけるネットワークづくりを担っていただきたいと思います。

* * * * * 未就学児の保護者さんの かぜくも教室 * * * * *

かぜくも教室は、就学前のお子さんの保護者さんを対象とした勉強会です。

第1回のかぜくも教室はコロナウイルスの影響により中止となりましたが、第1回に予定していた講義の内容を盛り込みながら第2回のかぜくも教室を行いました。本校の教育支援アドバイザー鈴木貞安氏を講師に迎え、「親子のよりよいコミュニケーションに向けて」～子どもの協力と感覚を生かして～をテーマに講義が行われました。子どもの特性を理解したうえで、子どもの協力を引き出す方法や感覚を生かして安心感を持たせることの大切さなどについて教えていただきました。

第3回目は、本校高等部3年生の保護者さん2名を講師にお迎えして「先輩お母さんの話を聞こう」をテーマに、「小学校入学前」「就学の頃」「小学校以降」など節目節目の様子や悩んだことなどをお聞きし、その後、参加された方からのたくさん質問に丁寧に答えていただきました。「ゆっくりでも絶対成長しますよ。」と先輩お母さんから話し頂いたことは、参加された保護者の方にとって、とても力強く説得力のあるものだったようです。



就学前のお子さんの遊び場

かぜくもひろば

例年6月からの実施でしたが、今年度は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、8月から計3回開催しています。参加人数も、お子さん5名程度とその保護者の方々に制限し、検温や消毒など対策を講じて行っています。

毎回、様々な遊びや先生とのかかわりを楽しんでいます。お集まりでは、歌に合わせてタンブリンを鳴らしてお返事をしてもらいました。みんな上手にタンブリンを鳴らして元気にお返事ができました。パネルシアター『ふしぎなたまご』では、たまごの中から何が出てくるか注目して見たり、前に出てきて先生と一緒にたまごの殻を開けたり楽しんで見ることができました。ふれあい歌遊び『パン屋さんにお買い物』では、お母さんと一緒に歌に合わせて、頬に手を当てたり、鼻や耳をつまんだり、最後はくすぐったりとふれあい遊びを楽しみました。保護者の皆さんからは、「先生方に優しく声をかけてもらって大喜びでした。」「場に慣れて楽しそうに遊んでいて、よかった。」等の感想をいただいています。

今年度も、保護者の方々からの参加希望が多数ありましたが、新型コロナ感染拡大防止のため、毎回継続しての参加が困難になってしまいました。そのような中でも、楽しみにして笑顔で参加していただき感謝申し上げます。来年度も子どもたちが安心して楽しく活動できるかぜくもひろばを開催していきたいと思っています。



地域の先生のための ミニセミナー

ミニセミナーは、市内の幼・小・中・高等学校の先生方や特別支援教育に関心のある方などを対象とした特別支援教育にかかわる勉強会です。

9月には、「自立活動について」というテーマで、本校小学部の近藤聡美教諭から講話をいただきました。実態把握からどのように中心課題を設定していくか、どうやって具体的な指導内容を決めるのか、という内容でした。指導実践からお話いただいたことで、参加者は、指導目標や内容を設定するときの流れやイメージをもつことができました。

10月には、「学校と福祉」というテーマで、いわき障がい者相談支援センターの時實祐志様を講師にお招きして実施しました。いわき市の相談支援体制や相談支援の構造について、それぞれの専門性や強みを生かし、方向性や力を合わせてチーム支援を行っていくことの重要性について、丁寧に教えていただきました。

参加者の皆さんから、「もっと知りたい」という様々なご意見をいただいています。今年度は、感染症拡大の影響により、2回の実施となってしまいましたが、来年度以降も、今年度寄せられたご意見を生かし、より充実した勉強会を実施していきたいと思っています。

